

【くまもと林業大学校で講義】

熊本県では次世代をリードする林業担い手の育成と確保を目的として、本年4月にくまもと林業大学校を開校しましたが、(公財)熊本県林業従事者育成基金からの依頼を受けて、川畑充郎署長が「国有林の役割と具体的な取組」と題して、5月31日に県北校(熊本県林業研究・研修センター)の学生11名に講義を行いました。

講義では、まず林野庁全体の組織と役割を説明した後、九州森林管理局のパンフレットや平成31年度の重点取組事項等により、国有林の役割と具体的な取組について説明し、学生たちも熱心に受講しました。

最後の質疑応答では、学生から国有林のシステム販売について多くの質問が出されるとともに、講義終了後も森林経営計画制度の改善点やコンテナ苗増産のための課題等について個別に熱心に意見したり質問する学生もおり、これから自分たちが熊本県の林業を担っていくとの意気込みが強く感じられ、大変頼もしい限りでした。

当署としては、引き続きくまもと林業大学校をはじめその他の民有林関係機関からの要請等に対して、適切に対応していく考えです。



講義する川畑署長